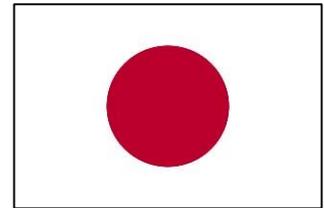


R2 年度

# 日中高校生対話・協働プログラム

～対話と協働を通して、日中高校生の絆を育む～



○交流期間：2020年11月25日～2021年3月24日

○参加者：国際文科2年中国語コース有志(13名)

○相手校：(中国)南京外国語学校(18名)

📌全4回に渡りおこなってきた交流の様子をお伝えしま～す！まずは事前学習会の様子です📌

## 0. 事前学習会

日時：2020年11月11日(水)17:00～17:40

講師：沖縄環境科学センター 岩村氏

テーマ：『食品ロス(日本・沖縄の現状と取り組み)』

日中共通課題である「食品ロス」を交流会のメインテーマについて岩村氏を講師に招き、学習会を開催しました。

日本の現状と課題、また取組について事例を交えながらわかりやすく話しをして下さり、生徒は情報を聞き漏らすまいとメモをとりながら聞き入っていました。質疑応答では時間が超過するほど質問が出てきて、それにも丁寧に回答して下さい、とても有意義な学びの時間となった。

### 【参加生徒の感想(一部抜粋)】

○世界では9人に1人が栄養不足だということに、日本だけで年間に捨てられる食品が612万トンもある。その量で世界の飢餓に飢えている人を救うことができるということに衝撃を受けた。○企業では食品ロスを解決するための取組がどんどん進められているが、家庭ではまだ食べ残しや直接廃棄がある。○「食品ロス」はまだ食べられる食品の廃棄であることを知り、自分にも心当たりがあると思った。一人ではどうしようもないが、周りに伝え、一人一人が意識していけば、食品ロスをどんどん減らしていけると思った。○買い物に行く前に冷蔵庫を確認するようにする、食べられる分だけ作る等、自分でできる事を少しずつ進めていきたい。○好き嫌いをなくし、食べ残しをしないことも自分のできる食品ロス対策だと思った。○自分のできる事から始めていきたいと思った。

